

サステナブル・エアポート ダイ

一目でわかる成田国際空港での主な環境への取り組み

ジェストマップ

旅客ターミナル



1 一般廃棄物の分別 ▶P24

旅客ターミナルビルロビーでは6分別、事務所エリアでは10分別し、リサイクルしています。



2 太陽光発電パネル ▶P32

旅客ターミナルビルやNAA本社ビルなどに設置し、発電された電気は旅客ターミナルビルやNAA本社ビルの照明などに利用しています。



3 厨房排水除害施設・中水製造施設 ▶P29

旅客ターミナルビルのレストランから出た排水を浄化処理し、トイレの洗浄水として再利用しています。

車両



4 電気自動車用急速充電器 ▶P32

電気自動車による来港促進を図るため、P1及びP2駐車場に電気自動車用急速充電器を設置しています。



5 水素ステーション ▶P32

近年、普及が進んでいる燃料電池自動車に対応しています。



低公害車の導入 ▶P32

業務用車両に電気自動車や低燃費・低排出ガス認定車などの低公害車の導入を推進しています。

誘導路



6 LED照明 ▶P33

誘導路の航空灯火や旅客ターミナルビル内の照明などに、省エネルギー効果の高いLED照明を採用しています。



空港内施設



7 リサイクルプラント ▶P26

アスファルトやコンクリートなどの建設廃材を砕石化し、舗装用資材として再利用しています。



8 雨水処理施設 ▶P29

滞水池の雨水を浄化処理し、中央冷暖房所の冷却水や旅客ターミナルビルのトイレの洗浄水として利用しています。



航空機



9 ノイズリダクションハンガー(NRH) ▶P18

格納庫型消音施設を整備し、航空機のエンジン試運転時の騒音を大幅に低減しています。



成田航空機騒音インデックスによる国際線着陸料金制度 ▶P15

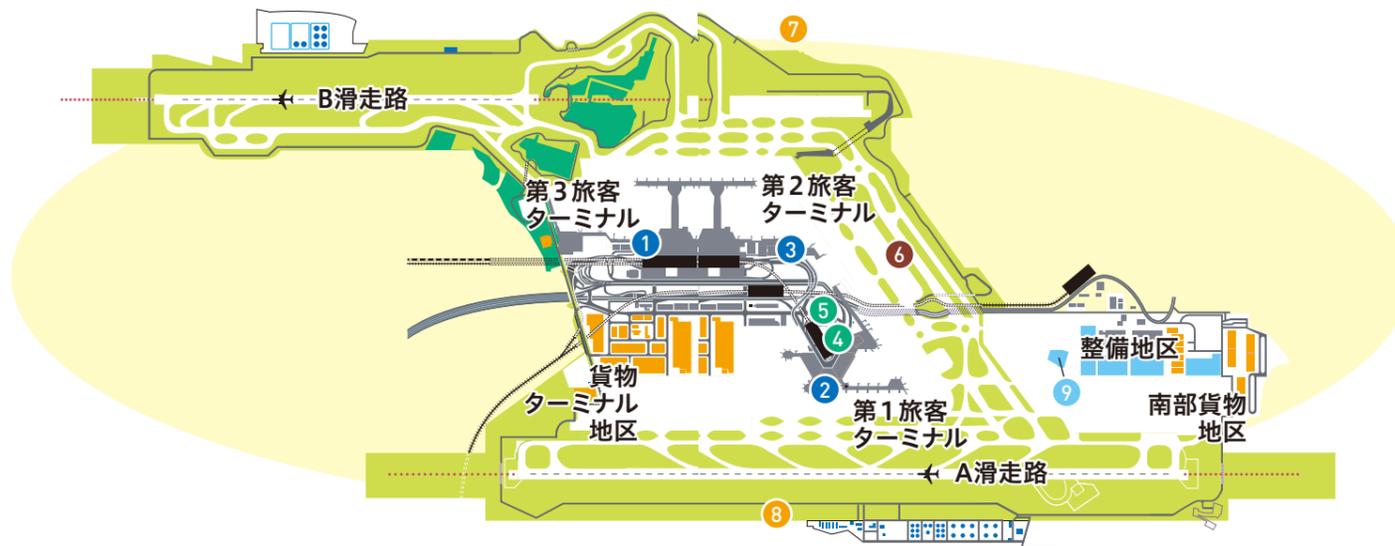
低騒音型航空機ほど国際線着陸料が安くなる制度を導入し、航空機の低騒音化を促進しています。これらの航空機は、同時にCO₂の削減にも貢献しています。



成田国際空港の主要施設

主要施設	2021年9月末時点供用中の施設
空港敷地面積	1,198ha
滑走路	A滑走路 4,000m×60m B滑走路 2,500m×60m
誘導路	延長約28.9km 幅30m、25m、23m
航空保安無線施設	ILS 4式 VOR/DME 1式
エプロン*	面積 約262ha
スポット	201スポット
旅客取扱施設	第1旅客ターミナルビル(延床面積 約46.4万㎡) 第2旅客ターミナルビル(延床面積 約39.1万㎡) 第3旅客ターミナルビル(延床面積 約7.4万㎡)
貨物取扱施設	貨物ターミナルビル等(延床面積 約27.9万㎡) 第1～7貨物ビル、日航貨物ビル、輸入共同上屋ビル、整備地区貨物上屋、第1貨物代理店ビル、第2貨物代理店ビル、貨物管理ビル、煙蒸倉庫、南部第1～6貨物ビル、その他

*旅客の乗降や貨物の積みおろし、燃料の補給や点検整備などのために航空機を駐機する場所



空港周辺



防音堤・防音林 ▶P18

騒音低減のための防音堤や防音林を整備しています。



グリーンポート エコ・アグリパーク ▶P23

騒音対策用地を活用し、体験型自然公園を整備しています。多種多様な動植物が生息しています。



環境監視 ▶P16 ▶P17 ▶P20 ▶P21

空港による環境への影響を把握するため、騒音・大気質・水質について常時または定期的に測定しています。また、これらのデータはNAAのWebサイトなどで公開しています。



駐機場(エプロン)



建設廃材の発生抑制 ▶P26

エプロン舗装を補修する際には、NAAが開発した「オーバーレイ工法」により、廃棄物の発生を抑制しています。

GPU(地上動力施設) ▶P31

駐機中の航空機に電力や空調を供給するため、静かで排気ガスの出ないGPU(地上動力施設)を旅客ターミナルビルや貨物地区の固定スポットに設置しています。

